

2022.10
vol. 130

大陸

Y U M E • T A I R I K U

令和3年度コンベンション開催状況



TOYAMA, JAPAN
Nature & Events Lead to New Discoveries

第73回 The 73rd Annual Meeting of the Central Division of JDA

日本皮膚科学会 中部支部学術大会

Time's arrow and evolution of Dermatology
 一時の矢と皮膚科の進化 -



金期 2022年 **10月29日・30日**
10月29日(土) 10月30日(日) 各2日

富山国際会議場
〒930-0855 富山県富山市富山町1-1

主催 牧野 輝彦 (富山大学医学部皮膚科学講座)

協賛 **清水 忠道**
富山大学医学部皮膚科学講座

協賛 **清水 忠道**
富山大学医学部皮膚科学講座

後援 富山県
 富山県知事 八木 宏道
 富山県医師会 日本皮膚科学会内 中部支部 運営チーム
〒930-0855 富山県富山市富山町1-1 TEL: 076-421-1427 FAX: 076-421-1428

お問い合わせ先 清水 忠道
TEL: 076-421-1427 FAX: 076-421-1428

会場 富山国際会議場
〒930-0855 富山県富山市富山町1-1

お問い合わせ先 清水 忠道
TEL: 076-421-1427 FAX: 076-421-1428

会場 富山国際会議場
〒930-0855 富山県富山市富山町1-1

お問い合わせ先 清水 忠道
TEL: 076-421-1427 FAX: 076-421-1428

1 光エレクトロニクス・光通信国際会議(OECC)/国際会議フォトニクスをベースとするスイッチングとコンピューティング2022(PSC)

- 日時：2022年7月3日(日)～7月6日(水)
- 会場：富山国際会議場(オンライン含むハイブリッド開催)
- 参加者：595名(現地参加336名)



歓迎看板：富山空港

「27th OptoElectronics and Communications Conference / International Conference on Photonics in Switching and Computing 2022 (OECC/PSC 2022)」と称する光通信に関する国際会議が、新型コロナウイルスの感染拡大以降初めて、富山国際会議場で開催されました。本会議は、光通信関連ではアジア最大規模の国際会議であり、電子情報通信学会(東京)主催のもと3年に1度日本で開催されています。当日は、コロナ感染拡大防止策を万全に講じながら、欧米からの11名の参加者含む336名が現地参加し、久しぶりに対面で深い議論が行われ、好評のうちに会議が開催されました。技術セッションでは、最先端の光通信技術や光デバイス技術に関する335件の講演やポスター発表(オンライン含む)が行われ、また、光通信デバイスなどの製品を紹介する25件の展示ブースも併設され、大学、研究機関、企業間で活発な意見交換が行われました。光技術は、スマートフォンによるSNSや動画視聴、将来のメタバースや自動運転などの身近な情報通信サービスを支える基盤技術として今後の技術革新と産業の活性化が期待されています。



2 第38回日本眼循環学会

- 日時：2022年7月16日(土)～17日(日)
- 会場：富山国際会議場(現地とオンデマンド配信のハイブリット開催)
- 参加者：約670名(オンライン参加者含む)



歓迎看板：JR富山駅

第38回日本眼循環学会は、現地開催2日間および会期後の1か月のオンデマンド配信によるハイブリット開催といたしました。招待講演をはじめシンポジウムやミニシンポジウム、そして本学会のメインである松山賞受賞講演、若手奨励賞受賞講演など充実したプログラム内容となりました。

2つの招待講演では、血管に関する基礎研究の醍醐味と臨床とのつながりを勉強できる内容、そして最新の加齢黄斑変性についてのご講演をいただきました。シンポジウムは「抗VEGF薬の長期治療の功罪と今後の展望」をテーマにセッションを組み、ミニシンポジウムでは、「緑内障における乳頭・乳頭周囲・網脈絡膜の深部血流」と「眼循環から迫るパキコリド関連疾患の病態解明」のテーマで網膜領域および緑内障領域の眼循環に関する最新情報が得られるものになりました。また、メインホールでは越中おわら節の公演を行い富山の伝統芸能を楽しんでいただきました。

本学会は、コロナ渦による影響で、予定よりも2年遅れての開催となりましたが、それでも多くの参加者の皆様に富山にお越しいただき、これまでの学会に近いかたちで開催することができたかと存じます。



3 一般社団法人日本地域看護学会第25回学術集会

- 日時：2022年8月27日(土)～28日(日)
- 会場：富山国際会議場・一部Webでのハイブリッド開催
- 参加者：約800名(うち現地参加者約300名)



歓迎看板：JR富山駅

一般社団法人日本地域看護学会第25回学術集会(集会長:富山大学学術研究部医学系教授 田村須賀子)は、富山国際会議場で3年ぶりに対面開催しました。一般演題と一部メインプログラム記録動画をWebで視聴し、質疑応答・意見交換するハイブリッド開催でした。メインテーマは「地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション～当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり～」でした。3年前の新型コロナ感染拡大から、保健医療福祉職は人々の生命と生活を護るため、次々生じる不測の事態に対応し続けてきました。地域看護が時代の要請を捉え、人々の健康と安寧により一層貢献するところに目的を共有し集い、交流・意見交換する学術集会の意義を、改めて確認する機会となりました。



④ 第18回アルミニウム合金国際会議 (ICAA18)

- 日時：2022年9月4日(日)～8日(木)
- 会場：富山国際会議場・ANAクラウンプラザホテル
(対面方式とオンラインでのハイブリット開催)
- 参加者：410名(オンライン参加者含む)



歓迎看板：JR富山駅

2022年9月4日～9月8日と富山国際会議場とANAクラウンプラザホテルにて、第18回アルミニウム合金国際会議 (ICAA18) が、対面方式とオンラインでのハイブリット形式で24カ国から410名の参加者を迎え、天気にも恵まれた中、開催された。ICAAは世界最大のアルミニウム合金の国際会議で、2年毎に北米、アジア、オーストラリア、ヨーロッパを巡っており、会の規模としては約300～400名、開催期間としては延べ1000名を超える参加者がある。前回のフランス・グルノーブルが完全オンライン開催となった反動か、400名を越えての参加者、とくに250名が対面参加で、かつヨーロッパ勢の参加が多かったことは主催側としては大変喜ばしい結果であった。今回はカーボンニュートラル、アルミニウムのリサイクルを主題とした研究発表、技術開発、課題解決方法等の最新の結果について議論がなされた。ご協力・ご支援いただいた富山コンベンションビューロー様はじめ、事務局をお勤め頂いた(株)PCO様、軽金属学会、富山県、富山市、富山大学、観光庁、富山県アルミ産業協会、企業各位、関連学協会各位に心より御礼申し上げます。この会議で利用したWHOVAというオンラインシステムに、"A warm welcome to the ICAA18 conference as you exit the Toyama station"という書込みが参加者からあった。富山駅の新幹線口に掲げていただいた"Welcoming to TOYAMA"という看板に温かさを感じたという大変嬉しい声を最後にご紹介して筆を置く。(ICAA18実行委員長 富山大学 松田 健二)



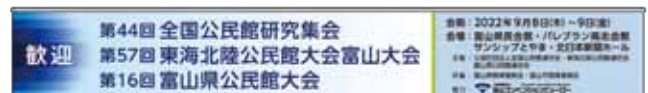
立山散策 9月8日(木)



立山博物館周辺散策 9月4日(日)

⑤ 第44回全国公民館研究集会・第57回東海北陸公民館大会・第16回富山県公民館大会

- 日時：2022年9月8日(木)～9日(金)
- 会場：富山県民会館他3会場
- 参加者：約1,200名



歓迎看板：富山空港

本大会では「公民館活動の新たなステージ～社会の変化に即した活力ある地域づくり・人づくりの拠点を目指して～」の主題のもと、コロナ禍ではありましたが東海北陸各県はもとより、北海道や秋田、新潟、長野、東京都、福岡県からも参加がありました。1日目の全体会では、会場参加者が約1050名、Zoom参加者が約150名、合計約1200名が集いました。コンベンションビューローから支援いただき南砺平高等学校郷土芸能部の日本一の舞台上で開幕し、文部科学省の施策説明や射水市大島絵本館の立野幸雄館長による「とやまの自然と文学」と題した記念講演を開催しました。



2日目の分科会では、参加者が5つのテーマ別に集い、実践発表や研究討議を通して学びあい、公民館活動の新たなステージに共に歩を進めることができ、とても有意義な大会となりました。(富山県公民館連合会 事務局長 本田 正則)



インフォメーションコーナーの紹介



日本地域看護学会第25回学術集会(8/27～28)
富山国際会議場



第18回アルミニウム合金国際会議(ICAA18)(9/4～8)
富山国際会議場



第44回全国公民館研究集会・第57回東海北陸公民館大会・第16回富山県公民館大会(9/8～9)
富山県民会館

秋風が立ち、野山が色鮮やかに染まる季節となりました。



10月 11月 12月 コンベンション・カレンダー

※各主催者の事情により、日程や会場の変更および中止や延期等となる場合もあります。

- 10月**
- 5** (NNT2022)第22回ナノインプリント・
～7 ナノプリント技術国際会議
富山国際会議場 [120人] **ハイブリッド開催**
- 8** 第41回日本小児歯科学会中部地方会大会
～10 および総会
富山国際会議場 [700人]
- 20** 第24回日身連中部ブロック
～21 身体障害者相談員研修会
宇奈月温泉 [200人]
- 22** 第4回全国万葉故地サミットINひみ
～23 氷見市芸術文化館 [410人]
- 23** 地域共生フォーラム全国セミナー in とやま
富山県総合福祉会館 [150人]
- 25** 第73回日本学校農業クラブ全国大会
～26 令和4年度北陸大会
富山県高岡文化ホール
中央農業高等学校 ほか [6,000人]
- 28** 日本風景街道大学・蜷気楼の見える街
～29 魚津キャンパス
新川文化ホール [150人]
- 29** 第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会
～30 富山国際会議場・ANAクラウンプラザホテル富山 [550人]
ハイブリッド開催
- 11月**
- 4** 第11回子ども・子育て支援全国大会 in 富山
～5 富山国際会議場・ANAクラウンプラザホテル富山 [400人]

- 11**
- 11** 2022年度北陸地区講演会と研究発表会
富山大学五福キャンパス [250人]
- 12** 日本緩和医療学会
第4回東海北陸支部学術大会
富山国際会議場 [200人]
- 18** 第26回外科病理学会学術集会
～19 ホテルグランテラス富山 [150人]
- 19** 第71回高分子学会北陸支部研究発表会
～20 および令和4年度北陸地区高分子若手研究会
富山県立大学射水キャンパス [150人]
- 19** 第96回日本糖尿病学会中部地方会
～20 富山国際会議場 [1,500人] **ハイブリッド開催**
- 22** 一般社団法人 ブラズマ・核融合学会
～25 富山国際会議場 [800人]
- 26** 第11回日本情動学会
～27 第1回看護ケアサイエンス学会 合同大会
富山大学五福キャンパス [270人]
- 26** 第36回日本計算機統計学会シンポジウム
～27 富山国際会議場 [150人]
- 10** 国際山岳年プラス20シンポジウムin黒部
～11 黒部市芸術創造センターセレネ [250人]
- 12** 令和4年度公開教育研修会
富山大学人間発達科学部附属特別支援学校 [150人]
ハイブリッド開催

令和3年度コンベンション開催状況

当ビューローでは、約700の機関・団体等の協力を得て、令和3年度に富山県内で開催されたブロック規模以上の学会や大会等のコンベンションの開催状況をまとめました。

新型コロナウイルスの影響で、前年度に引き続き、開催中止や延期、またはオンライン開催となったコンベンションが多くありましたが、参加者が実際に会場に参集したコンベンションの開催件数は、63件（対前年度比123.5%）、参加者数は10,692人（同120.0%）となり、件数・参加者数とも前年度と比較して増加しました。また、オンラインで開催されたコンベンションは42件で、参加者数はハイブリッド開催のオンライン参加者を含め43,608人でした。

主なコンベンションとして、「日本ペインクリニック学会第55回学術集会（7/22～24）」や、「第6回全国小水力発電大会in富山（10/28～29）」の全国規模の学会や大会がハイブリッドで開催され、1年延期となっていた全国規模の「第36回日本臨床リウマチ学会（12/18～19）」がリアルで開催されました。

編集後記

今号で紹介した、7月の光通信に関する国際会議「OECC/PSC2022」や9月のアルミニウム合金国際会議「ICAA18」は、新型コロナの感染が拡大して以降、久しぶりに開催された大規模な国際会議ということで、地元の新聞やTVでも大きく取り上げられました。会議が開催された会場でも、国外からの外国人参加者の姿が多く見受けられ、今後、海外からの入国制限も緩和されていくなかで、外国人参加者に対するサポート体制など充実させていきたいと思っています。

ようこそ、富山県へ

【編集・発行】



公益財団法人 富山コンベンションビューロー

〒930-0083 富山市総曲輪2-1-3 富山商工会議所ビル1F

TEL.076-421-3300 FAX.076-421-0963

URL: <https://toyama-cb.or.jp> E-mail: toyama-213@voice.ocn.ne.jp FB: <https://www.facebook.com/toyamacvb/>

コンベンション開催の支援や
とやまの情報などは、
ホームページをご覧ください。

